

第5学年 道徳学習指導案

日時 平成17年8月31日 3校時

児童 大船渡市立大船渡北小学校 5学年1学級

男子13名 女子17名 計30名

授業者 細谷 恵美 (長期研修生)

1 主題名 気持ちのよいあいさつ [2-(1)礼儀]

2 資料名 よいあいさつが、よい出会いをつくる (みんなのどうとく5年 学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領道徳の第2章、第5学年及び第6学年の内容の2「主として他の人とのかかわりに関すること」の(1)に、「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する」とある。2の視点は、自己を他の人とのかかわりの中でとらえ、望ましい人間関係の育成を図ることに関するものである。高学年においては、特に礼儀作法について正しく理解し、時と場をわきまえた適切な言動が求められる。周りの人の気持ちを思いやる心が真心のこもった言動につながり、人との対応も丁寧なものになるのである。人間が人間らしい生活をし、お互いに人間関係を保つための基本的な生活習慣の一つであることより、高学年に考えさせたい大切な価値である。

(2) 児童について

児童の会話や対応の仕方を見ていると、声の大きさや言葉づかい、表情・態度などから、周りの人々への思いやりや気づかいなどが感じられない姿を目にすることがある。また、知っている人には挨拶はするものの、初めてあった人には言われないうとできないという場面もよく目にする。

そこで、場に応じた言葉を使ったり、気持ちのよい挨拶をしたりするためにはどうしたらよいのか、なぜ必要なかをしっかり考えさせていきたい。

(3) 資料について

登校時、進は、交通整理のおじさんに挨拶をしようとしたが出来なかった。帰りの会では、挨拶について話し合いをした。その日の帰り道、かよこ達は進のお母さんに出会い自分達から挨拶をした。そしたらおばさんの顔が明るくなり、みんなの心も明るくなったという内容である。

朝の正門での出来事や学級での話し合いにおける会話を考えさせることによって、挨拶の意味を考えながら、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶ができるような心情を育てるのに適した資料である。

(4) 指導に当たって

導入では、ファミリーカードから「挨拶、言葉づかい、態度」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。

展開の主人公の気持ちについて考える場面では、ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公のすっきりしない気持ちに共感させる。次に、挨拶のもつ役割について考えさせ、考えがでにくい場合は、ハートフルカードから保護者がされて嬉しかった出来事を紹介し、考えやすくさせる。自分の生活を見つめ直す場面では、ハートフルカードから保護者の気持ちを紹介してから生活を振り返らせることで、ねらいとする価値への意欲付けを図る。

(指導における基本的な考え方は、平成17年度岩手県教育研究発表会資料参照のこと)

4 本時の指導

(1) ねらい

場に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶ができるような心情を育てる。

(2) 展開

事前カード	<p>「礼儀」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いた、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「礼儀」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;">ファミリーカード</p> <p>設問1 自分の友達や大人の人に対するあいさつや言葉づかいや態度など、気を付けて欲しいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうして出来なかったのか、その時どんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。</p>	<p style="text-align: center;">ハートフルカード</p> <p>設問1 子どもの挨拶や態度、言葉づかいなど礼儀にかかわることで、自分がされてうれしかったと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、あいさつや言葉づかいをもう少し気を付けて欲しかったと思えた出来事について発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの子供会の行事の時、自分から進んであいさつをして欲しかった。 ・いくら友達でも、らんぼうな言葉づかいや、相手が気にするようなことは言わないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードから、挨拶、言葉遣い、態度という観点から書かれている児童に意図的指名をし価値への方向付けを行う。
展開	<p>2 資料「よいあいさつが、よい出会いをつくる」を読んで、話し合う。</p> <p>挨拶をしようとしても挨拶ができなかったとき、どんな気持ちでしたか。</p> <p>「あいさつは、こわばった空気を和らげてくれる」というのは、どんなことなのだろうか。</p> <p>「あいさつって、心を開くひみつかぎみたい。」というの、どういうことなのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着かない、変な気持ち。 ・なんとなく、悪いことをしたような気持ち。 ・しばらく、気になってしょうがない。 ・心のこもったあいさつは、人の気持ちを優しくしてくれるのではないか。 ・心のこもったあいさつは、相手の心にしっかりと伝わっていくのではないか。 ・けんかをしていても、なんとなく許してあげたくなる。 ・明るいあいさつをすると、おたがいの心を通い合わせることができる。 ・気持ちのよいあいさつをすると、相 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。 ・ハートフルカードに書いてもらった児童の出来事を紹介し、自分の生活と照らし合わせながら考えさせる。 ・心のこもったあいさつとはどんなあいさつなのか考えさせる。 ・友達の考えを聞いて、良いなあと思う考えを、学習シートに書かせる。

<p>展 開 (37)</p>	<p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活をふり返って、今日の学習をもとに感じたことを書きましょう。</p>	<p>手との距離をちぢめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをすると、お互いに気持ちよく生活が出来るので、進んでやっていきたい。 ・挨拶や話をするときは、相手の顔を見てするようにしたい。 ・相手の気持ちや場を考えて、話し方に注意していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルカードに書いてもらった子どもから行為を受けたときの気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。 ・友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。
<p>終末 (3)</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが日常に生かされていくように、意識付けを図る。